

設問1

痙直型両麻痺児の歩行の特徴で誤っているのはどれか、一つ選べ。

A1	上肢は屈曲位をとりやすい
A2	体幹の側方動揺が大きい
A3	股関節は外転位になりやすい
A4	膝関節は屈曲位をとりやすい
A5	つま先から接地する

正解 A3

筋緊張亢進により股関節は内転位になりやすい。

設問2

ダウン症の特徴で正しいのはどれか、一つ選べ。

A1	先天性心疾患の合併はみられない
A2	環軸関節亜脱臼が生じやすい。
A3	四肢の関節拘縮を生じやすい。
A4	内反尖足が生じやすい
A5	運動発達の遅れはみられない

正解 A2

筋緊張低下に加え、靱帯、腱等の弾力性の低下などにより、環軸関節の亜脱臼が生じやすい。

設問3

厚生省筋萎縮症研究班によるデュシェンヌ型筋ジストロフィーの障害度分類で誤っているのはどれか、一つ選べ。

A1	手すりを持たずに階段昇降可能－ステージ1
A2	床から起立可能－ステージ3
A3	5m以上歩行可能－ステージ4
A4	四つ這い可能－ステージ5
A5	座位保持可能－ステージ8

正解 A5

ステージ7は座位保持可能、ステージ8は座位保持不能。

設問4

二分脊椎Sharrard分類Ⅳ群の移動能力で正しいのはどれか、一つ選べ。

A1	車椅子を使用する
A2	短下肢装具とロフトランド杖を併用して歩行する
A3	短下肢装具を使用して歩行する
A4	長下肢装具とロフトランド杖を併用して歩行する
A5	骨盤帯付き長下肢装具と歩行器を併用して歩行する

正解 A3

Sharrard分類Ⅳ群の場合、短下肢装具を使用して実用的に歩行ができる。

設問5

先天性股関節脱臼で誤っているのはどれか、一つ選べ。

A1	前方脱臼が多い。
A2	男児より女児に多い
A3	大腿骨頭壊死を生じることがある
A4	リーメンビューゲル装具を用いる
A5	変形性股関節症の原因となる

正解 A1

大腿骨頭は骨盤に対し、後外側に脱臼が生じやすい。